

基準1 理念・目的

(1) 点検・評価項目における現状

1-1 大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。

① 大学の理念・目的を踏まえて、学部（学科）の目的を適切に設定していますか。	<input type="radio"/>	はい
	<input type="radio"/>	いいえ

学部（学科）の理念・目的
 教育学部教育学科は、自己を確立するとともに他者を尊び、愛と奉仕を実践できる豊かな人間性に基づき、人々が文化を継承し新たな時代の担い手になるための働きかけである教育という営みについて、専門的な教育研究を行うことを通じ、高い学識とグローバルな視野を持ち、社会に貢献する有為な人材を育成することを目的とする。

② 大学の理念・目的と学部（学科）の理念・目的の適切性を定期的に検証していますか。	<input type="radio"/>	はい
	<input type="radio"/>	いいえ

※検証を行う組織（教授会や各種委員会等）や検証の時期等、具体的な検証プロセスを記入してください。
 学部の理念や目的については、執行部にて適切に検証されている。
 [根拠資料] 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。
 執行部会議議事録

1-2 大学の理念・目的及び学部・研究科の目的を学則又はこれに準ずる規則等に適切に明示し、教職員及び学生に周知し、社会に対して公表しているか。

① 学部（学科）の理念・目的は学則又はこれに準ずる規則等に明示していますか。	<input type="radio"/>	はい
	<input type="radio"/>	いいえ
② 学部（学科）の理念・目的を学生及び教職員に周知し、社会に対して公表していますか。	<input type="radio"/>	はい
	<input type="radio"/>	いいえ

※具体的な周知・公表方法を記入してください（本学Webサイト、刊行物等）。
 教育学部の理念・目的については、学則に明示し、本学のHPに掲示している。

1-3 大学の理念・目的、各学部・研究科における目的等を実現していくため、大学として将来を見据えた中・長期の計画その他の諸施策を設定しているか。

① 学部（学科）の中・長期の計画を策定していますか。	<input type="radio"/>	はい
	<input type="radio"/>	いいえ

[根拠資料] 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。

(2) 長所・特色

継承に伴い、理念・目的等の見直し等については、臨時執行部会等で確認され、決定している。

(3) 問題点

学則に記載されている学部の理念・目的については、プール学院大学より継承したものであり変更については議論が必要である。

(コメント)

中長期計画については、理事会での承認後、教職員の認識を共有する必要がある。

基準2 内部質保証

(1) 点検・評価項目における現状

2-1 内部質保証のための全学的な方針及び手続を明示しているか。

(2-1) ① 内部質保証のための全学的な方針及び手続を明示していますか。	<input type="radio"/>	はい
	<input type="radio"/>	いいえ

※学部（学科）においてどのような形で明示しているかを記入してください。

[根拠資料] 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。

2-2 内部質保証の推進に責任を負う全学的な体制を整備しているか。

(2-2) ① 内部質保証の推進に責任を負う全学的な体制を整備していますか。

<input type="radio"/>	はい
<input type="radio"/>	いいえ

※全学的な体制の名称（委員会組織等）をご記載ください。

自己点検・評価委員会

[根拠資料] 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。

桃山学院教育大学自己点検・評価規程

2-3 方針及び手続きに基づき、内部質保証システムは有効に機能しているか。

(2-3) ① 学部（学科）における内部質保証システム（教育・学習等が適切な水準にあるかどうかを検証し、改善に結びつける組織的な活動）を適切に機能させていますか。

<input type="radio"/>	はい
<input type="radio"/>	いいえ

※学部（学科）における内部質保証システムを担う組織（教授会や学部内委員会等）の構成、活動内容等を記入してください。

自己点検・評価委員会

[根拠資料] 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。

桃山学院教育大学自己点検・評価規程

2-4 教育研究活動、自己点検・評価結果、財務、その他の諸活動の状況等を適切に公表し、社会に対する説明責任を果たしているか

(2-3) ① 教育研究活動、自己点検・評価結果、財務、その他の諸活動の公表を適切に行っている。

<input type="radio"/>	はい
<input type="radio"/>	いいえ

情報の公表状況について記入してください。

継承後初めての自己点検・評価を2019年度に実施するため、現状は公表できていない。

[根拠資料] 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。

特になし

2-5 内部質保証システムの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。

(2-3) ① 全学的なPDCAサイクルの適切性、有効性。内部質保証システムの点検・評価。点検・評価結果に基づく改善向上を行っている。

<input type="radio"/>	はい
<input type="radio"/>	いいえ

点検・評価。改善・向上について記入してください。

2018年度の点検・評価については、今後行う予定である。

[根拠資料] 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。

特になし

(2) 長所・特色

--

(3) 問題点

内部質保証のための自己点検・評価に関する規程はあるが、現在のところ有効に機能していない。2018年度の評価行うにあたり、指針の策定、規程の改訂等を行い、有効に機能させていくことが今後の課題である。

(コメント)

内部質保証については、有効性のある制度、体制を早急に整え、点検サイクルを実施する必要がある。

基準3 教育研究組織

3-1 大学の理念・目的に照らして、学部・研究科、附置研究所、センターその他の組織の設置状況は適切であるか。

(3-1) ① 大学の理念・目的と学部（学科または課程）構成及び研究科構成との適合性は適切ですか。	<input type="radio"/>	はい
	<input type="radio"/>	いいえ

※全学的な体制の名称（委員会組織等）をご記載ください。
 本学の教育の目的を達成するために、教育学部を設置し、学習面では教職センター、学生支援センターなど、健康面では、健康スポーツ科学センターを設置し、学生を支援するための組織を設置している。

【根拠資料】 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。
 学校法人桃山学院 事務組織一覧、組織規程

3-2 教育研究組織の適切性について、定期的に点検・評価を行っているか。またその結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。

(2-3) ① 適切な根拠（資料、情報）に基づく点検・評価を行い、改善・向上へとつなげていますか。	<input type="radio"/>	はい
	<input type="radio"/>	いいえ

※研究組織の適切性点検・評価をどのように行っているかを記入してください。
 教育研究組織の適切性については、常時執行部にて見直しを行い、必要に応じて拡充を図っている。

【根拠資料】 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。
 WEBサイト 情報公開 事務組織表

(2) 長所・特色

本学及び学部の目的を達成するための組織を必要に応じて点検・見直しを行い、常に改善・向上を図っている。

(3) 問題点

学内組織については、今後継続して見直しを行っていく。

(コメント)

学内組織については執行部にて適宜点検がなされている。

基準4 教育課程・学習成果

(1) 点検・評価項目における現状

4-1 授与する学位ごとに、学位授与方針を定め、公表しているか。

① 学部（学科）として修得すべき学習成果、その達成のための諸要件（卒業要件）を明示した学位授与方針を設定していますか。	<input type="radio"/>	はい
	<input type="radio"/>	いいえ

学部（学科）の学位授与方針
 学則の目的に定める人材育成に向け、人間教育の理念に即し専門分野に関する知識・技能並びに教養を身につけ、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下にあげるような能力を修得した学生に学位を授与する。

1. 教育課程に定められた科目を確実に修め、教員・社会人として全ての基盤となる基礎的な知識、確かな判断を導く幅広い教養、これからの社会を確かなものとして築いていく専門性を、十分に修得したと認められること。
2. 大学、地域社会、国際社会の中での出会いを大切に、多様な環境でコミュニケーション力を高め、柔軟で先見性のある人間観を育んできたこと。そして、子どもたちが夢を持てる発展性のある未来についての展望を持ち、それを実現する使命感と責任感を養ってきたこと。その上で、他者に対する寛容と規律の精神をもって協働性を発揮して、これからの社会を築く一員となる強い意志と高い志を身に付けてきたこと。
3. 在学中の学問研究を通して、自分自身が大切にすべき世界観を確かなものとして育み、自分自身の責任ある判断で行動できる主体性を確立して、誇れる我を身に付けてきたこと。その上で、人間的な成長すなわち人格の完成を弛むことなく追い求めてきたこと。さらに、今後も努力を惜しまず自己を高めていく覚悟があること。

② 学部（学科）の学位授与方針は、全学のものとして一体性・整合性が図られていますか。	<input type="radio"/>	はい
	<input type="radio"/>	いいえ
③ 学部（学科）の学位授与方針を周知・公表していますか。	<input type="radio"/>	はい

	いいえ
※具体的な周知・公表方法を記入してください（本学Webサイト、刊行物等）。	
本学Webサイト	

4-2 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。

① 学生に期待する学習成果の達成を可能とするための教育課程の編成・実施方針を設定していますか。	<input type="radio"/>	はい
		いいえ

学部（学科）の教育課程の編成・実施方針	
<p>教員・社会人としての資質・能力を確実に修得できるよう、基礎教育科目、教養科目、専門基礎科目、専門科目として4年間の学修を目標とした教育課程を編成する。さらに、教育学基礎演習、教育学演習、教育学専門演習、卒業研究と段階を追った研究を、チューターによって支援していく。</p> <p>1. 基礎教育科目には、本学の教育理念である人間教育を学ぶとともに、大学教育への導入と大学での学修に必要な基礎的な知識や技能を習得することを目標として置く。全てを必修科目として1年次を対象とし、将来への展望のもとに体系的な学修計画を立てられような学びも併せて行う。</p> <p>2. 教養科目には、教育者として求められる幅広く深い教養を身に付けることによって、確かな理解力と豊かな感受性を養うことを目標として置く。過去および現代の社会についての学び、倫理観や人の心についての学び、科学的な世界観についての学び、および日本の伝統的な文化や精神についての学び等、多様な講座を設ける。</p> <p>3. 専門基礎科目には、幼児児童生徒理解のために必要な科目や教育に関する基礎理解のための科目等、教育の専門科目を学習するための基礎となる科目群を置いて、専門的な学びの基礎を築くことを目標とする。</p> <p>4. 専門科目には、教職に関する科目、教科に関する科目、保育に関する科目、健康・スポーツに関する科目、特別支援教育に関する科目、養護に関する科目、キャリア形成に関する科目等において、教育者としての専門的な力量の育成を目標とする。</p> <p>5. 将来を見据えたキャリア形成と教育者としての自覚の形成を図るために、インターンシップ、教育実習、保育実習、介護等体験実習等を実習科目として置く。併せて国際的な広い視野を持てるよう海外インターンシップの機会も設ける。</p>	

② 学部（学科）の教育課程の編成・実施方針は、全学のものとの一体性・整合性が図られていますか。	<input type="radio"/>	はい
		いいえ
③ 学部（学科）の教育課程の編成・実施方針を周知・公表していますか。	<input type="radio"/>	はい
		いいえ

※具体的な周知・公表方法を記入してください（本学Webサイト、刊行物等）。	
本学Webサイト	

4-3 教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。

① 学生の能力育成のため、教育課程の編成・実施方針に基づいた教育課程・教育内容が適切に提供していますか。	<input type="radio"/>	はい
		いいえ

※教育課程の編成・実施方針との整合性の観点から、学生に提供している教育課程・教育内容の概要を記入してください。	
カリキュラムの科目区分	
「カリキュラム・ポリシー」にしたがい、4年間で学ぶすべての科目は、「基礎教育科目」、「教養科目」、「専門基礎科目」、「専門科目」に区分されている。	
(a) 基礎教育科目	大学教育への導入と大学での4年間の学習に必要な基本的知識や技能を習得するための科目群である。すべて1年次を対象として、必修科目になっている。
(b) 教養科目	専門的職業人とくに教育・保育従事者としての幅広い教養を身につけるとともに広い識見と柔軟な感受性を養うための選択科目群である。4年間を通して履修することができる。
(c) 専門基礎科目	教育・保育の専門科目を学修するための基礎となる科目群です。大きく三つに分かれる。一つめは教育・保育の対象者（子ども）とその文化の基礎理論や概説的理解のために必要な科目、二つめは教育・保育に関する基礎理論を習得するための科目、三つめは2年次クラス担任による演習科目である。
(d) 専門科目	専門科目は、①保育士に関する科目、②教職に関する科目（幼・小）、③領域および保育内容に関する科目、④教科に関する科目（小）、⑤教職に関する科目（中・高）、⑥健康・スポーツに関する科目、⑦特別支援教育に関する科目、⑧養護に関する科目⑨キャリアに関する科目、⑩専門演習・卒業研究に関する科目に区分される。
これらの科目群は、教育学科で取得可能な免許状や資格の、専門性を養う科目を中心に構成されている。	

【根拠資料】根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。

『履修の手引き』22頁

- | | | |
|---|---|-----|
| ② 学生の能力育成の観点からカリキュラムの順次性・体系的性を確保していますか。 | ○ | はい |
| | | いいえ |

※どのように学生の順次的・体系的な履修（個々の授業科目の内容・方法、授業科目の位置付け（必修・選択等）含む）への配慮が行われているかについて、概要を記入してください。

学生にカリキュラム・マップを示し、順次的・体系的な履修への配慮を行っている。個々の授業科目の内容・方法、授業科目の位置付け等についてはシラバスに記載している。

【根拠資料】根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。

カリキュラム・マップ（『履修の手引き』32～33頁）

シラバス（本学Webサイト）

- | | | |
|--|---|-----|
| ③ 教養科目（共通教育科目）と専門科目（学科教育科目）の適切な配置を行っていますか。 | ○ | はい |
| | | いいえ |

※教養科目（共通教育科目）と専門科目（学科教育科目）の適切な配置をどのように行っているのか、概要を記入してください。

共通教育科目は「基礎教育科目」、「教養科目」、「専門基礎科目」で構成し、学科教育科目は「専門科目」で構成する。各科目区分の内容は、上記4-3①「学生に提供している教育課程・教育内容の概要」のとおりである。

【根拠資料】根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。

『履修の手引き』22頁

- | | | |
|------------------------------|---|-----|
| ④ 初年次教育や高大接続への配慮を適切に行っていますか。 | ○ | はい |
| | | いいえ |

※初年次教育・高大接続への配慮に関し、どのような教育内容が学生に提供されているか概要を記入してください。

1年次から少人数制の演習（ゼミ）を必修科目として設置している。参加型の授業を通して、自発的な問題解決力のほか、プレゼンテーション力やコミュニケーション力、協調性を養成している。

【根拠資料】根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。

本学Webサイト

4-4 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。

- | | | |
|--|---|-----|
| ① 教育課程の特性に応じた単位の実質化を図るための措置（年間又は学期毎の履修登録単位数の上限設定等）を適切に行っていますか。 | ○ | はい |
| | | いいえ |

※単位の実質化を図るために、どのような措置を行っているのか概要を記入してください。

学期毎の履修登録単位数の上限を24単位と定めている。

【根拠資料】根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。

桃山学院教育大学教育学部履修規程第5条

- | | | |
|-----------------------|---|-----|
| ② 学生の履修指導を適切に行っていますか。 | ○ | はい |
| | | いいえ |

※学生の履修指導の体制及び方法について、概要を記入してください。

履修指導は教務委員会とチューターが協力して行っている。1、2年次生に対しては各学期の始めに、3、4年次生に対しては年度の始めに履修ガイダンスを実施している。

【根拠資料】根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。

2018年度前期履修ガイダンス資料（1～4年次生用）

2018年度後期履修ガイダンス資料（1～2年次生用）

2018年度末・2019年度初めタイムスケジュール

2018年度後期行事予定表（2018年7月25日コース会議資料）

- | | | |
|-----------------------|---|-----|
| ③ 学生の学習指導を適切に行っていますか。 | ○ | はい |
| | | いいえ |

※学生の学習指導に関する取り組みの概要を記入してください。

1年次から少人数制の演習（ゼミ）を必修科目として設置している。演習担当の専任教員がチューター（担任）となり、希望進路や特性に応じ、履修計画の作成や学生生活などについてもアドバイスを行う。定期的なチューター会議で指導方針や情報を共有するなど、教員全体でのサポート体制も整えている。

【根拠資料】根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。

本学Webサイト

④ 学生の学習時間（予習・復習）を確保するための方策を行っていますか。	<input type="radio"/>	はい
	<input type="radio"/>	いいえ
※学生の学習時間（予習・復習）を確保するための取り組みの概要を記入してください。 シラバスに自習学習を学生にどのように行わせるかについて記載し、学生に周知している。		
[根拠資料] 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。 2019年度シラバス作成の手引き シラバス（本学Webサイト）		
⑤ 教育上の目的を達成するため、効果的な授業形態の導入に取り組んでいますか。	<input type="radio"/>	はい
	<input type="radio"/>	いいえ
効果的な授業形態の導入についての取り組みの概要を記入してください。 アクティブラーニングの視点から取り組む内容を具体的にシラバスに記載するようにしている。		
[根拠資料] 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。 2019年度シラバス作成の手引き シラバス（本学Webサイト）		
⑥ 授業形態（講義、語学、演習等）に即して、1授業あたりの学生数を配慮していますか。	<input type="radio"/>	はい
	<input type="radio"/>	いいえ
※1授業あたりの学生数をどのように配慮しているのか概要を記入してください。 語学や演習等の科目は、クラス別に授業を行うことなどにより1授業あたりの学生数に配慮している。講義科目については、受講者が多く見込まれる場合は、複数回開講するなどにより1授業あたりの学生数に配慮している。		
[根拠資料] 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。 2018年度時間割表		
⑦ シラバスが適切に作成されているかについて検証を行っていますか。	<input type="radio"/>	はい
	<input type="radio"/>	いいえ
※検証体制及び方法の概要を記入してください。 事務局によるチェックに加え、専門科目のシラバスについては各免許種ごとに教務委員がチェックし、基礎教育科目、教養科目、専門基礎科目については教務部長がチェックをしている。		
[根拠資料] 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。 2019年1月16日教務委員会議事録		
⑧ 授業がシラバスに沿って行われているかについて検証を行っていますか。	<input type="radio"/>	はい
	<input type="radio"/>	いいえ
※検証体制及び方法の概要を記入してください。		
[根拠資料] 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。		

4-5 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。

① 成績評価及び単位認定を適切に行っていますか。	<input type="radio"/>	はい
	<input type="radio"/>	いいえ
※成績評価と単位認定の適切性の確認体制及び方法の概要を記入してください。 桃山学院教育大学試験及び成績評価に関する規程に基づき、教務委員会において再試験対象科目等を確認し、「期末試験・成績採点のしおり」により学期毎に成績評価と単位認定の方法を確認している。		
[根拠資料] 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。 桃山学院教育大学試験及び成績評価に関する規程 2018年5月23日教務委員会議事録 2018年11月21日教務委員会議事録 2018年度前期 期末試験・成績採点のしおり 2018年度後期 期末試験・成績採点のしおり		
② 厳格な成績評価を行うための方策を行っていますか。	<input type="radio"/>	はい
	<input type="radio"/>	いいえ
※厳格な成績評価を行う取り組みの概要を記入してください。		

各授業科目のシラバスに授業の方法および内容、到達目標、成績評価の方法等を記載し、公表している。成績の評価方法は、評価項目の割合をパーセントで示している。評価指標は、通常のGPAに比べて素点の差異をより詳細に反映するfunctional GPA (fGPA) を採用している。

【根拠資料】 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。

2019年度シラバス作成の手引き

シラバス（本学Webサイト）

『履修の手引き』62～63頁

③ 学位授与に係る責任体制及び手続を明らかにし、適切な学位の授与を行っていますか。

はい

いいえ

※学位授与に係る責任体制及び手続等の概要を記入してください。

学位授与に係る要件を満たし卒業可能な者について教務委員会で確認した後、教授会で承認する。

【根拠資料】 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。

2019年3月4日教務委員会議事録

2019年3月6日教授会議事録

4-6 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。

① 学部（学科）単位で成績分布の状況を把握していますか。

はい

いいえ

※データの把握主体・把握方法・データの種類等について記入してください。

教務委員会において学年ごとのfGPAの分布（直近の学期および累計）をグラフで確認し、本学Webサイトで公表している。

【根拠資料】 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。

本学Webサイト

② 教育課程の分野の特性に応じた学習成果を測定するための指標の適切な設定又は取り組みを行っていますか。	<input type="radio"/>	はい
		いいえ
※学習成果を測定するための指標の適切な設定又は取り組みの概要を記入してください。 教育学部として、免許種ごとに教員に求められる資質能力の指標を設定している。		
[根拠資料] 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。 履修カルテ		

③ 学習成果の把握をしていますか。	<input type="radio"/>	はい
	<input type="radio"/>	いいえ
※学習成果の把握についての概要を記入してください。 学修成果として、②で述べた教員に求められる資質能力の指標を用いた学生の自己評価や、教員に求められる資質能力に関する教員の評価は、教職実践演習の担当教員は把握しているが、大学全体で共有されていない。		
[根拠資料] 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。		

④ 学部（学科）単位で学生の就職・進路等の状況を把握していますか。	<input type="radio"/>	はい
		いいえ
※データの把握主体・把握方法・データの種類等について記入してください。 学生の個別の就職状況については、教授会等で報告がなされている。		
[根拠資料] 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。		

4-7 教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。

① 学習成果を定期的に検証し、その結果をもとに教育課程及びその内容、方法の改善に向けた取り組みを行っていますか。	<input type="radio"/>	はい
	<input type="radio"/>	いいえ
※検証体制及び方法、改善・向上に向けた取り組みの概要を記入してください。 学修成果が大学全体で共有されていないため、それを基にした教育課程及びその内容、方法の改善に向けた取り組みは行っていない。		
[根拠資料] 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。		

(2) 長所・特色

本学は、教える知識やスキルだけではなく、それを使う者自身の豊かな人間性を磨く「人間教育」を目指している。

(3) 問題点

授業がシラバスに沿って行われているかについての検証を行っていない。また、学修成果が大学全体で共有されていないため、それを基にした教育課程及びその内容、方法の改善に向けた取り組みができていない。

(コメント)

上記問題点に挙げられているとおり、①授業がシラバスに沿って行われているかの検証②学習成果の把握についての方法を検証について検討すべきである。

基準5 学生の受け入れ

(1) 点検・評価項目における現状

5-1 学生の受け入れ方針を定め、公表しているか。

① 学部（学科）として求める学生像や修得しておくべき知識等の内容・水準等を明らかにした学生の受け入れ方針を設定していますか。	<input type="radio"/>	はい
		いいえ

学部（学科）の学生の受け入れ方針

教育学部では、幅広く深い知識や技能を習得し、豊かな教養を身に付け確かな専門性を備え、それを基盤としてグローバルな視点からこれからの日本の教育を展望して、主体的に担っていくとする強い意志を持つ教育者を養成することを目標とする。また、多様な人々との高いコミュニケーション力や協働できる力、お互いの違いを受け止める柔軟性等の、社会人として備えるべき資質や能力も育成していく。そのために以下のような学生を求める。

1. 高等学校で修得した基礎的な学力を身に付けていること。
2. 大学での専門的な学修を最後まで為し遂げる意志を持っていること。
3. 将来の進路の実現に向けての強い希望と意志を持ち続けられること。
4. 教育者としての教養を幅広くかつ深く身に付けようとする関心が高いこと。
5. 主体的に判断し行動できる自己を求めて人間的な成長を常に追求する姿勢を持てる

② 学部（学科）の学生の受け入れ方針は、全学のものとの一体性・整合性が図られていますか。

○	はい
□	いいえ

③ 学部（学科）の学生の受け入れ方針を周知・公表していますか。

○	はい
□	いいえ

※具体的な周知・公表方法を記入してください（本学Webサイト、刊行物等）。

本学Webサイト、入試ガイド等

5-2 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。

① 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施していますか。

○	はい
□	いいえ

※学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制、入学者選抜の公正な実施方法の概要を記入してください。

総合型選抜、学校推薦型選抜、一般選抜と受け入れ方針に応じた多様な制度を設定し、入試広報委員会を中心に全学で実施運営を行っている。

【根拠資料】 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。

特になし

5-3 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。

① 定員の超過・未充足に適切に対応していますか。

○	はい
□	いいえ

※入学定員・収容定員の超過・未充足に対する取り組みの概要を記入して下さい。

年度当初に定員管理における選考別のシミュレーションを行っている。さらに、選考実施の度に動向を把握しながら修正を行っている。その結果、適性の入学者数となっている。

【根拠資料】 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。

特になし

5-4 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。

① 学生募集及び入学者選抜の結果について検証を行い、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。

○	はい
□	いいえ

※検証体制及び方法、改善・向上に向けた取り組みの概要を記入してください。

選考実施の度（当初→A O→推薦→一般）に点検・評価を行っている。①事務段階（入試課）での外的要因を含めた適性合格者数と歩留まり予測による入学者数の随時検証、②教員組織（入試広報委員会）での妥当性の検討、③執行部（入試判定会議）による原案承認の3段階で点検・評価が行われている。

【根拠資料】 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。

特になし

(2) 長所・特色

入学定員における入学者数は、2018年度、2019年度と2年連続1.0倍以上、1.1倍以下であり、適正に進められている。

(3) 問題点

競合他大学の合格者数によって、本学の歩留まり率の上下変動が激しいことへの対策。

(コメント)

上記自己評価に記載されているとおり、本学は学生の受入方針を設定し、また、受入の適切性についても入試広報委員会および入試課にて検討を行っている。しかしながら、根拠資料が無いものがいくつかあるため、根拠となる資料を保管しておく必要がある。

基準6 教員・教員組織

(1) 点検・評価項目における現状

6-1 大学の理念・目的に基づき、大学として求める教員像や各学部・研究科等の教員組織の編制に関する方針を明示しているか。

① 大学の理念・目的に基づき、学部（学科）の教員組織の編成に関する方針を明示していますか。

	はい
○	いいえ

求める教員像及び教員組織の編成に関する方針	

② 組織的な教育を実施する上において必要な役割分担、責任の所在をどのように整備していますか。	<input type="radio"/>	はい
	<input type="radio"/>	いいえ

※学部執行部の構成、学部内の基幹委員会の名称・役割、責任体制等の概要を記入してください。
組織的な教育の実施については、学部長、コース長が構成員となっている大学執行部について決定されている。

[根拠資料] 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。

6-2 教員組織の編成に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編成しているか。

① 学部（学科）のカリキュラムにふさわしい教員組織を備えていますか。	<input type="radio"/>	はい
	<input type="radio"/>	いいえ

※教員像及び教員組織の編成方針、カリキュラムとの整合性、男女比率等の観点から教員組織の概要を記入してください。

[根拠資料] 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。

② 特定の範囲の年齢に著しく偏らないよう配慮していますか。	<input type="radio"/>	はい
	<input type="radio"/>	いいえ

※配慮の概要を記入してください。

[根拠資料] 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。

6-3 教員の募集、採用、昇任等を適切に行っているか。

① 募集、採用、昇任等に関する基準を整備し、規程に沿った教員の募集、採用、昇任等を適切に行っている。	<input type="radio"/>	はい
	<input type="radio"/>	いいえ

募集、採用、昇任等の概要について記入してください。
本学の募集、採用、昇任については、規程等を基に適切に行っている。

[根拠資料] 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。
桃山学院教育大学教員選考規程、桃山学院教育大学専任教員の採用・昇格に関する規程

6-4 ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につ

(6-4) ながけているか。

① 学部（学科）内のFD活動は適切に行われていますか。	<input type="radio"/>	はい
	<input type="radio"/>	いいえ

※学部（学科）内でFD活動を適切に行うための体制及び活動内容の概要を記入してください。
2018年度は7月の教育フォーラム、8月の聖公会関係学校研修会を本学のFD・SDと位置づけ、本学の教育方針やアイデンティティについての知識を深めている。

[根拠資料] 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。
教育フォーラム資料、聖公会関係学校資料

② 研究活動を活性化するための方策を講じていますか。	<input type="radio"/>	はい
	<input type="radio"/>	いいえ

※研究活動の活性化を行うための取り組みの概要を記入してください。
学内競争的資金である「研究奨励費」を公募し、研究活動の活性化を行っている。

[根拠資料] 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。
2018年度 研究奨励費一覧

6-5 教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行って

(6-5) いるか。

- ① 教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行い、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。

○	はい
	いいえ

※検証体制及び方法、改善・向上に向けた取り組みの概要を記入してください。

本学では、教育目的を達成するため、設置基準を超える教員を配置している。今後もさらに拡充する予定である。

【根拠資料】 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。

2019年度桃山学院教育大学教職員一覧

(2) 長所・特色

教員組織については、執行部で検討の上、適切な教員を配置している。

(3) 問題点

教員の配置については適切であると認識しているが、本学では教員組織の編成についての方針がまだ定まっていない。

(コメント)

設置基準上の教員の配置については問題ないと認識しているが、求める教員像及び教員組織の編成に関する方針がないため、方針を策定し、それに沿った教員編成を目指さなければならない。

基準7 学生支援

(1) 点検・評価項目における現状

7-1 学生が学習に専念し、安定した学生生活を送ることができるよう、学生支援に関する大学としての方針を明示しているか。

- (7-1) ① 大学の理念・目的、入学者の傾向等を踏まえた学生支援に関する大学としての方針を明示していますか。

○	はい
	いいえ

※明示する方法について記入してください。

入学前の新入生サイトに大学としての方針を明示した「あなたの学生生活を応援します！」を掲載し、入学後も「学生支援センター」ならびに「カウンセリングルーム」のチラシを新入生オリエンテーションウィーク時全員に配布している。

【根拠資料】 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。

・新入生サイト掲載「あなたの学生生活を応援します！」 ・学生支援センターチラシ ・カウンセリングルームチラシ

7-2 学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制は整備されているか。また、学生支援は適切に行われているか。

(7-2)

- ① 学籍異動状況（卒業・留年者・休学・退学・除籍）を学部（学科）単位で把握していますか。

○	はい
	いいえ

※データの把握主体・把握方法・データの種類の種類等について記入してください。

学籍異動(退学、休学)は本人及び保証人連署の上、文書にて提出された願出とチューターの所見を保管している。学長決裁後、執行部会議で報告し、学籍異動に関する許可書等を本人宛送付する。学籍異動毎にGAKUENデータベースに異動理由等を登録し、都度一覧表を作成する。学籍異動毎に在籍数一覧表の作成、学期毎に学年別「在籍簿」(含卒業、除籍)を作成し、学生数の把握をしている。

【根拠資料】 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。

休学・退学願

チューターの所見(手書もしくはワード作成文書)

学籍異動者・理由一覧表

在籍数表

在籍簿(エクセル作成、ファイル資料保管)

- ② 学部(学科)として学生の修学支援をどのように行っていますか。

○	はい
	いいえ

※修学支援の概要を記入してください。

1年次から少人数制の演習(ゼミ)を必修科目として設置。定期的なチューター会議で指導方針や情報を共有するなど、教員全体でのサポート体制を整えている。

【根拠資料】 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。

③ 成績が不振な学生に対して、適切に対応していますか。

<input type="radio"/>	はい
<input type="radio"/>	いいえ

※成績が不振な学生の状況把握と指導の取り組みのを記入してください。
毎学期ごとに各学生ごとの全履修科目の出席率、GPA、修得単位数を各チューターに開示している。各学年ごとに下位1/4の学生についてはチューターが個別面談・指導を行っている。

【根拠資料】 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。
学生別成績状況等一覧表
本学Webサイト

④ 学部（学科）として外国人留学生の修学支援について、適切に対応していますか。

<input type="radio"/>	はい
<input type="radio"/>	いいえ

※外国人留学生の修学支援の概要を記入してください。
月1回、面談を行い、生活指導とともに修学状況についても確認を行っている。修学の遅れがないか確認し、面談した結果はチューターと情報を共有している。

【根拠資料】 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。
特になし

7-3 学生支援の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行って

(7-3) いるか。

① 学生支援の適切性について定期的に点検・評価を行っていますか。

<input type="radio"/>	はい
<input type="radio"/>	いいえ

※検証体制及び方法、改善・向上に向けた取り組みの概要を記入してください。
月1回定例開催される「学生支援センター会議」にて学生の支援内容について、協議、検証を行っている。また各窓口担当者との情報共有を行い、前述の協議に反映させている。

【根拠資料】 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。
特になし

(2) 長所・特色

学生支援センター会議の前に、スタッフ会議（週1回）や個々の支援のためのチューター（担任）を交えたケース会議（随時）を実施している。学生個々のニーズに対して、組織的に支援することができ、チューター制度のバックアップになっている。

(3) 問題点

学生のニーズがメンタル面、健康面等と多様化している。適切な支援をするために月1回の情報共有だけでなく、恒常的に細かい連携を行っており、他業務の整理が必要。

(コメント)

本学では学生委員会および学生課を中心として、学生支援センター、カウンセリグルームなど様々な形で学生支援をおこなっている。

基準8 教育研究等環境

8-1 学生の学習や教員による教育研究活動に関して、環境や条件を整備するための方針を明示しているか。

(8-1) ① 大学の理念・目的、各学部、研究科の目的等を踏まえた教育研究活動等環境に関する方針を明示していますか。

<input type="radio"/>	はい
<input type="radio"/>	いいえ

教育研究等環境に関する方針。

8-2 教育研究等環境に関する方針に基づき、必要な校地及び校舎を有し、かつ運動場等の教育研究活動に必要な施設及び設備を整備している。

① ネットワーク環境や情報通信技術（ICT）等機器、備品等の整備を行っていますか。

<input type="radio"/>	はい
<input type="radio"/>	いいえ

現在及び今後予定の整備状況について記入してください。

本学は大学設置基準に基づき、必要な校地、校舎面積について満たしている。2018年度の継承以降は、AV設備の改修、エアコン改修等に加え、2019年度には学内のwifi設備の導入し、必要な設備の整備を行っている。

〔根拠資料〕 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。

特になし

② 施設、整備等の維持及び管理、安全及び衛生の確保がなされていますか。

<input type="radio"/>	はい
<input type="radio"/>	いいえ

現在及び今後予定の整備状況について記入してください。

未整備であった、A棟、L棟の耐震改修について、2018年度には整備を行い旧耐震基準の建物についてもIS値0.7以上を確保している。また、衛生設備についても学生が使用するほとんどのトイレについて2018年度に全面改修をおこなった。

〔根拠資料〕 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。

特になし

③ バリアフリーへの対応や利用者の快適性に配慮したキャンパス環境整備がなされていますか。

<input type="radio"/>	はい
<input type="radio"/>	いいえ

現在及び今後予定の整備状況について記入してください。

本学では、誘導ブロック、スロープ、エレベーター、多機能トイレ、車両用フリースペース等を有し、バリアフリーへの対応を行っている。

〔根拠資料〕 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。

特になし

④ 学生の自主的な学習を促進するための環境整備がなされていますか。

<input type="radio"/>	はい
<input type="radio"/>	いいえ

現在及び今後予定の整備状況について記入してください。

本学では、図書館、教職センター、食堂において、学生が自主学習を行えるフリースペースを設けている。

〔根拠資料〕 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。

特になし

⑤ 教職員及び学生の情報倫理の確立に関する取り組み

<input type="radio"/>	はい
<input type="radio"/>	いいえ

現在及び今後予定の整備状況について記入してください。

特になし

〔根拠資料〕 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。

特になし

8-3 図書館、学術情報サービスを提供するための体制を備えているか。また、それらは適切に機能しているか。

① 図書資料の整備と図書利用環境を適切に整備していますか。

<input type="radio"/>	はい
<input type="radio"/>	いいえ

図書資料と利用環境の整備について記入してください。

図書館の閲覧室は1,033㎡で、十分な面積を設けており、蔵書数は13万冊である、閲覧座席は160席であり、収容定員の10分の1以上の座席を設けている。

〔根拠資料〕 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。

② 図書館、学術情報サービスを提供するための専門的な知識を有するものを配置していますか。

<input type="radio"/>	はい
<input type="radio"/>	いいえ

現状と今後予定の整備について記入してください。

学術サービスについては専門の職員を配置しており、専門的知識を有する図書館の業務委託職員と連携している。

〔根拠資料〕 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。

特になし

8-4 教育研究活動を支援する環境や条件を適切に整備し、教育研究活動の促進を図っているか。

(8-4)

① 研究活動を促進させるための条件の整備を行っていますか。

<input type="radio"/>	はい
<input type="radio"/>	いいえ

現状と今後予定の整備について記入してください。

本学では、研究費を配分し、研究者は必要に応じて個人の裁量で使用することができる。また、個別の研究に対しては、学内競争的資金である、研究奨励費を設定し、厳正な審査により研究費を配分している。

〔根拠資料〕 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。

桃山学院教育大学教員個人研究費・個人研究旅費規程

8-5 研究倫理を遵守するための必要な措置を講じ、適切に対応しているか。

(8-5)

① 研究倫理、研究活動の不正防止に関する取り組みを適切に行っていますか。

<input type="radio"/>	はい
<input type="radio"/>	いいえ

現状と今後予定の整備について記入してください。

本学では、研究倫理教育担当者である学部長のもと、e-ラーニングでの研究倫理教育の受講を義務付けている。2018年度は研究者全員が受講している。

〔根拠資料〕 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。

8-6 教育研究等環境の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを

(8-6) 行っているか。

① 適切な根拠（資料、情報）に基づく点検・評価を行っていますか。

<input type="radio"/>	はい
<input type="radio"/>	いいえ

適切な根拠について記入してください。

教育研究等環境の適切性については、継承の際に全面的に点検・評価を行っている。

〔根拠資料〕 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。

特になし

② 点検・評価結果に基づく改善・向上について記入してください。

<input type="radio"/>	はい
<input type="radio"/>	いいえ

点検・評価結果に基づく改善・向上内容について記入してください。

継承の際の点検・評価にしたがって修繕計画を立案している。施設関係については総務課、教室の環境については教務課、ネットワーク環境については学術担当が状況を把握し、改善に取り組んでいる。

〔根拠資料〕 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。

特になし

(2) 長所・特色

本学は、規模が小さいため、教育研究環境については把握しやすい環境である。各担当が状況を把握し、改善へむけて取り組んでいる。

(3) 問題点

本学は規模が小さく、施設の修繕の際に代替の施設の確保が困難である。

(コメント)

本学では教育研究等環境の方針が策定されていない。昨年度より、新しい情報機器の導入、学内LANの設置など改善を行っているが、方針に沿った施設・設備環境の整備を行っていくべきである。

自己点検・評価項目なし

基準9 社会連携・社会貢献

(1) 点検・評価項目における現状

9-1 大学の教育研究成果を適切に社会に還元するための社会連携・社会貢献に関する方針を明示しているか。

(9-1)

- ① 大学の理念・目的、各学部・研究科の目的等を踏まえた社会貢献・社会連携に関する方針を適切に明示していますか。

<input type="checkbox"/>	はい
<input type="radio"/>	いいえ

方針について記入してください。

[根拠資料] 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。

9-2 社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また教育研究成果を適切

(9-2) に社会に還元しているか。

- ① 学外組織との適切な連携体制を構築していますか。

<input type="checkbox"/>	はい
<input type="radio"/>	いいえ

連携体制について記入してください。

[根拠資料] 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。

- ② 社会連携・社会貢献に関する活動による教育研究活動の推進を行っていますか。

<input type="radio"/>	はい
<input type="checkbox"/>	いいえ

社会連携・社会貢献に関する活動による教育研究活動について記入してください。
本学では、継承前より継続して教員免許状更新講習を実施している。

[根拠資料] 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。

免許状更新講習チラシ

- ③ 地域交流、国際交流事業への参加を行っていますか。

<input type="radio"/>	はい
<input type="checkbox"/>	いいえ

地域交流、国際交流への参加について記入してください。
2018年度は「教育フォーラム」を実施した。また、「発達障害フォーラム」を毎年実施し、地域住民も対象としている。教員の研究活動として、地域住民と対象として「ポケない&コケないアンチエイジング筋トレ教室」を開催している。本学学生の課外活動の一環として、地域で行われる夏祭りへは毎年参加し、クラブ活動として地域の子どもたちを対象としたイベントを定期的実施している。

[根拠資料] 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。

9-3 社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組み

(9-3) を行っているか。

- ① 適切な根拠（資料、情報）に基づく点検・評価を行っていますか。

<input type="checkbox"/>	はい
--------------------------	----

	<input type="radio"/>	いいえ
根拠とする資料、情報について記入してください。		
[根拠資料] 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。		

② 点検・評価結果に基づく改善・向上を行っていますか。

	<input type="radio"/>	はい
	<input type="radio"/>	いいえ

現状について記入してください。		
[根拠資料] 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。		

(2) 長所・特色

地域連携への活動は積極的に実施しており、地域への貢献は十分であると認識している。
--

(3) 問題点

地域連携への活動は、総務課、学長室、学生課などで独立しておこなわれており、管理ができていない。今後は、情報を一元化し、共有していくことが重要である。
--

(コメント)

上記問題点にも記載されているとおり、十分な地域連携・貢献活動を行っているにも関わらず一元化して管理ができていない。全学的・一元的に管理する組織の設置が望まれる。
--

基準10 大学運営・財務

(1) 点検・評価項目における現状

10-1 大学の理念・目的、大学の将来を見据えた中・長期の計画等を実現するために必要な大学運営に関する大学としての方針を明示

(10-1) しているか。

① 大学の理念・目的、大学の将来を見据えた中・長期の計画等を実現するための大学運営に関する方針を明示していますか。

	<input type="radio"/>	はい
	<input type="radio"/>	いいえ

方針について記入してください。		
[根拠資料] 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。		

① 学内構成員に対する大学運営に関する方針の周知を行っていますか。

	<input type="radio"/>	はい
	<input type="radio"/>	いいえ

方針の周知方法について記入してください。		
[根拠資料] 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。		

10-2 方針に基づき、学長をはじめとする所要の職を置き、教授会等の組織を設け、これらの権限等を明示しているか。また、それに

(10-2) 基づいた適切な大学運営を行っているか。

① 適切な大学運営のための組織の整備を行っていますか。

	<input type="radio"/>	はい
	<input type="radio"/>	いいえ

組織の整備内容について記入してください。		
執行部は、大学全体の方針を決定する最高審議機関であり、教育・研究に関する事項、教員人事に関する事項、事業計画に関する事項、予算(教育研究計画)に関する事項、組織および運営に関する事項、その他学長が必要とする事項について定める。教授会は、学長が掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとしている。		
[根拠資料] 根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。		

② 適切な危機管理対策を実施していますか。

<input type="radio"/>	はい
<input type="radio"/>	いいえ

危機管理内容について記入してください。
 本学学内および学外において発生する危機に、迅速かつ的確に対処するため、危機管理に関する規程を策定し、本学の学生および教職員等の安全確保を図っている。

【根拠資料】根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。

桃山学院教育大学の危機管理に関する規程

10-3 予算編成及び予算執行を適切に行っているか。

(10-3)

③ 予算執行プロセスの明確性及び透明性を確保していますか。

<input type="radio"/>	はい
<input type="radio"/>	いいえ

内部統制等、予算執行に伴う効果の分析、検証する仕組みの設定について記入してください。

桃山学院経理規程等法人の規定に基づき、適切に執行している。

【根拠資料】根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。

桃山学院経理規程、桃山学院経理規程施行細則、桃山学院予算執行規程等

10-4 法人及び大学の運営に関する業務、教育研究活動の支援、その他大学運営に必要な事務組織を設けているか。また、その事務組織は適切に機能しているか。

(10-4)

① 大学運営に関わる適切な組織の構成と人員配置を適切に行っていますか。

<input type="radio"/>	はい
<input type="radio"/>	いいえ

諸規程等の整備内容について記入してください。

桃山学院事務組織および事務分掌規程をはじめとする諸規程を整備している。

【根拠資料】根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。

桃山学院事務組織および事務分掌規程

10-5 大学運営を適切かつ効果的に行うために、事務職員及び教育の意欲及び資質の向上を図るための方策を講じているか。

(10-5)

② 大学運営に必要なスタッフ・ディベロップメント（SD）を組織的に実施していますか。

<input type="radio"/>	はい
<input type="radio"/>	いいえ

SDの実施内容について記入してください。

本学のSDはIR・FD委員会を通して適切に行われている。2018年度は4月実施の教育フォーラム、8月実施の聖公会関係学校研修会をSDと位置づけ、本学の教育方針、学院のアイデンティティ教育を行った。

【根拠資料】根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。

教育フォーラム資料、聖公会関係学校研修会資料

10-6 大学運営の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。

(10-6)

① 適切な根拠（資料、情報）に基づく点検・評価を実施していますか。

<input type="radio"/>	はい
<input type="radio"/>	いいえ

点検・評価方法について記入してください。

監査法人による会計監査および内部監査の実施により、財務面ならびに大学運営面の定期的な点検を行っている。

また、監査法人に『監査覚書』として記載された案件については、より安全性の高い財務面での運営体制を確立するため、改善に努めている。同様に内部監査については、監事から報告される「監事監査・監査状況報告」にて報告された事項について、各部門にて改善に努めている。

【根拠資料】根拠資料がない場合は、「特になし」と記入してください。

『監査覚書』『監事監査・監査状況報告』

(2) 長所・特色

毎年度、通常の監査の他に、監査法人による「提案型監査」を実施し、テーマに沿って「リスク」を回避できる組織についての提案を受けている。

(3) 問題点

資産図書の登録要件や旅費規程など、2018年度に設置者変更により開設した桃山学院教育大学と桃山学院大学との間に違いがある。今後同一法人であるため、細かな規程のすり合わせが必要である。

(コメント)

単年度ごとの事業計画だけでなく、早急に中長期の大学運営についての方針を明文化し、周知すべきである。